

## 回 答

回答者のお名前： 石井 としろう

### I 1) 残存するアスベスト使用状況の把握について

賛成 反対 その他

理由：ご指摘の通り、アスベスト使用状況の把握は市民の健康保持の観点から重要と考えます。

### 2) リスクコミュニケーションの実践について

賛成 反対 その他

理由：住民も含め意思疎通を図ることは重要であり、私が掲げる OPEN！西宮の理念に合致します。

### 3) アスベスト対策協議会の設置や新たな条例制定について

賛成 反対 その他

理由：有効なアスベスト対策について、協議会の設置や条例制定も含め検討していきます。

### 4) 阪神淡路大震災のアスベスト健康被害の調査と検査実施について

賛成 反対 その他

理由：健康被害の防止に最適な政策について、調査や検査実施も含め検討していきます。

### II 1) 無電柱化システムを積極的に導入することについて

賛成 反対 その他

理由：ご指摘の通り、無電柱化を進めることは交通安全や防災などの観点から重要と考えます。

### 2) 宅地造成の安全基準について

賛成 反対 その他

理由：住民の安全確保のため、宅地造成の安全基準についても不断の見直しが必要と考えます。

### Ⅲ 西宮市におけるアスベスト安全対策について具体的にお聞かせください。

アスベストによる健康被害は、まさに命にかかわる問題であり、真摯に対策に取り組むべき課題であると考えています。

アスベストによる健康被害を防止するためには、ご指摘の通り、まずは使用状況を把握し、アスベストが使用されている建物の解体等については、必要な措置が講じられるようにする必要があります。既にこれまで西宮市が行ってきた調査結果も踏まえながら、使用状況の把握に努めていきます。民間が行うアスベスト調査への支援も行っています。

また、住民も含めた関係者間でしっかりとリスクコミュニケーションを行うことも非常に重要だと考えます。リスクコミュニケーションが有効に機能するには、きちんと情報が公開されることが大前提を考えます。そのため、原則すべての行政情報を公開することとし、IT等を活用し「見える化」を徹底します。

アスベスト安全対策を含め市民の健康を守ることは、何よりも大切なことです。市が取り組むのは当然のことですが、市民と一丸となって取り組むべき課題と考えています。アスベスト対策について、改善していくべき点について市民の皆さまの声を是非お寄せいただきたいと思います。そのため、「市長へのホットライン」や「いっしょにしましょ課（仮称）」など、広く皆さまの意見を政策に反映し、市民と一緒に安全を作り上げていく仕組みを構築します。

以上です。ご協力ありがとうございました。